

## 【議事録】

H30年度 第1回 青藍会在宅医療支援センターハートハウス成城介護・医療連携推進会議

【日時】 平成30年12月6日 10時

【場所】 青藍会 在宅医療支援センターハートハウス成城 相談室

【出席者】 民生委員 会長 石井 優子様

民生委員 副会長 木下 悦子様

地域住民代表：鈴木 禮子様

喜多見介護保険サービス：田中 康雄様

成城リハケア：濱崎 エリ様

成城あんしんすこやかセンター：浜山 亜希子様

(順不同)

ハートハウス成城：岩本東京事業部長 管理者清野(定期巡回)

管理者平井(訪問看護) 根本介護福祉士

1. 開会の挨拶
2. 介護・医療介護連携推進会議の参加者ご紹介
3. 定期巡回随時対応型訪問介護看護サービスの現状

弊社の各事業のパンフレットの説明。

- ・定巡のサービス提供範囲の説明。自転車で片道20分程度の範囲でサービス提供している。成城・砧・祖師谷・喜多見の4地域ではニーズを拾いにくい為、現在では地域を拡大しサービスを提供している。
- ・当事業所の訪問看護との一体型、訪問看護のサービスなし、他訪問看護事業所との連携、他訪問介護事業所との連携(チーム型)の照会
- ・現在の利用者数の報告、登録者が10名になった。  
今後は夜間の支援にも力を入れ地域のニーズに応じていく方針。
- ・チーム型の詳細を説明。・夜間対応型の説明。・訪問看護の説明。

<質問>

登録利用者の平均介護度は？日にどのくらいの訪問回数なのか？

<返答>

平均介護度は3.5 訪問回数は利用者各々違うが多い方で日に5~6回 訪問時間は20分程度。

<質問>

利用者数が10名だが、チーム型で利用されている方は何名？

<返答>

現在は1名の利用

<質問>

夜間対応型と訪問介護の併用は介護保険上、問題はないのか？

<返答>

介護保険上では訪問介護と夜間対応の併用は可能、定期巡回は訪問介護との併用は不可。

利用者が今まで利用していた馴染みのあるヘルパーとの係わりを維持するためにチーム型連携でサービスを提供していく。

<質問>

チーム型の料金について、この委託料だと訪問介護事業所にとって安くないのか？

<返答>

20分からとありますが、記録等の時間も含め最低30分から60分の時間で事業所には人件費は賄えるよう委託料は支払っている。

例えば40分でサービスが終了しても60分のサービス料として委託料を支払っている。

地域別ではなく委託料は均一の料金。

### 3. サービス実施状況報告

別紙 自己評価・外部評価 評価表を参照

### 4. 意見交換 ～皆様からの質疑応答～

<Q>今日の会議は外部評価コメントに記載されますか？

<A>外部評価コメントに記載いたします。

<Q>エリアはどこを周っていますか？

<A>成城・喜多見・祖師谷・砧の地区を基本としてとその周辺地区も訪問しております。

<Q>成城エリアのケースはありますか？

<A>成城エリアのケースもございます。

(コメント)

成城はヘルパーよりも家政婦を雇うことや、施設に入る方が多いとのことでした。

<Q>山口でも同じように定期巡回の事業は行っていますか？

<A>行っておりますが、山口では半分くらいは高齢者住宅に入所している方を訪問させていただき、在宅もいっている形をとっております。法人内の高齢者住宅のため、行き違いはあまりないです。

成城の事業では一般在宅のみで行っており、本来の定期巡回の形ではないかと思えます。

<コメント>

#### ●災害について

7年前の東日本大震災のときにこちらの方は震度5強位だった。ガスは止まったが、停電にはならなかった。電話は10回に1回つながったが携帯が全く繋がらなかった。災害のマニュアルも分厚くまるで役に立たなかった。メディアの情報も海辺の津波情報ばかりで、近隣の情報はまるで入らなかった。ケアマネも電話がかからないため1件1件訪問して安否確認していた。そうすると他のヘルパーと重なってしまう。

案としては、CMが持っているリストと、ヘルパーが持っているリストの名簿が二つあり重なっている人に関しては省いて回るなど観やすいマニュアルを用意するものがあつたらよい。

1件に5・6事業所入っていたところに、誰かはいらなろうと誰も行かず、家族が怒ってしまったケースもあるかぶってもいいから、連携がうまく取れれば何回も重なるのはばかばかしいと反省はある。成城に関してはOK・SOSの取り組みもあるため、そのOKの札を活用して行くのもよい。

●利用者や家族が苦情を聞くことがあると思うがそのようなことも会議の場に出していただけると、具体的にサービスの向上にいいところも悪いところも乗せていただけるといいのではないかと

<A>次回から、記載していきます。ご助言ありがとうございます。

●在宅医の先生から聞いたが、世田谷の地区は他の地区に比べると在宅の看取りは多いとのことでした。

以上